



2008年10月30日

【プレスリリース】

グリーンカー ジャーナル主催
2009年 Green Car of the Year 賞の最終候補 5モデルが決定
～11月20日のLAオートショー記者会見で発表～

2008年11月19日から開催されるロサンゼルス(LA)オートショーにて「2009年 Green Car of the Year (GCOY)賞」を主催する Green Car Journal は、本日、最終候補 5モデルを発表しました。最終選考の結果はプレスデーの最終日(11月20日)午前中の記者会見において発表されます。

2009年度 Green Car of the Year® (GCOY)賞の最終候補として残ったモデルは、BMW 335d、Ford Fusion Hybrid、Saturn Vue 2-Mode Hybrid、smart fortwo、および Volkswagen Jetta TDI の 5モデルです。これら 5モデルは今年度で最も優れた 5台のグリーンカー、「Green Car Journal's Top 5 for 2009」として認定されます。

これら 5モデルは、それぞれの製造メーカーにとっても重要なマイルストーンとなるものです。VWとBMWのクリーン・ディーゼルは、50州すべての排出規制に適合する、非常に効率の高い先進的ディーゼル・セダンの登場を告げる最先端モデルです。Fordのフルハイブリッドである Fusion Hybrid は、同社初のハイブリッド型セダンです。SaturnのVue 2-Modeは、GMが2モード・ハイブリッド・システムをV6前輪駆動に搭載した初めてのケースです。smart fortwo は北米市場に初めて上市される環境負荷が少ない低燃費マイクロカーです。

Green Car Journal の編集発行人であり、GreenCar.com の編集者も務めるロン・コーガン(Ron Cogan) は次のように述べています。「今年は数多くの画期的で先進的なモデルが登場し、『グリーンカー』にとってエキサイティングな年となりました。自動車業界がよりグリーン化された車をさらに重要視するようになり、多数の車が選考対象となったことにより、今年度の最終候補モデルの選出は従来よりもさらに困難なものとなりました。またクリーン・ディーゼル 2車種と小型ガソリン車がハイブリッドに匹敵する水準に達したのも今年が初めてのことです。」

Green Car Journal の GCOY®は、環境への影響を低減する活動に個人として参加する機会を模索する新車購入者に対し、その回答となるニューモデルの認知拡大に注力しています。選考にあたっては、大幅な燃費改善、エミッションの削減、代替燃料の使用、あるいはトータルな環境負荷の低減が選考基準となります。

Green Car Journal では、GCOY®賞の候補となるにふさわしいモデルを選出するために徹底した選考を行います。あらゆる種類の技術、燃料、および動力源を使用する車両が対象となります。2009年度 GCOY®プログラムの候補車は、環境面パフォーマンスの水準を大きく引き上げる 2009年型モデルであること、また2009年1月1日までに生産が開始されていることが必要条件です。さらに、候補車は Green Car Journal 誌スタッフのテストドライブにより、実際の動力性能の検証が行われます。

2009年度の GCOY®賞選考にあたっては、Sierra Club のカール・ポープ(Carl Pope) 事務局長、Natural Resources Defense Council のフランセス・バイネッケ(Frances Beinecke) 理事長、Ocean Futures Society のジャン・ミシェル・クストー(Jean-Michel Cousteau) 理事長、自動車の専門家であり Tonight Show のホストも務めるジェイ・レノ(Jay Leno)、自動車業界の著名人であるキャロル・シェルビー(Carroll Shelby)、そして、4名の Green Car Journal 編集者、計9名が審査員を務めます。

Green Car Journal と GCOY 賞の選考について

GCOY 賞は、自動車業界における環境問題対策の進歩への貢献という Green Car Journal のミッションのひとつを具現化する重要な役割を担っています。Green Car Journal では、1992 年以降、自動車、エネルギー、環境の 3 テーマが交差する領域の動向を、業界向けニュースレターと自動車ファン向けの専門誌を通じてお伝えしています。

GCOY 賞は、翌年の 1 月 1 日までに市販されるモデルの全てが対象となります。第一次選考においては、目新しさも重要ですが、何よりも車両と搭載された環境対応技術が環境に及ぼす影響をどこまで低減できるかがポイントになります。Green Car Journal が、様々な比較や試乗をもとに最終候補車両を 5 モデルに絞り込み、交通技術、自動車設計、環境保護などの分野の専門家によって構成される審査委員会が最終選考を行います。

LA オートショーについて

LA オートショーには 100 年の歴史がありますが、秋の開催となってからは今年で 3 回目となります。今回のプレスデーは 11 月 19 日(水)～20 日(木)、一般公開日は 21 日(金)～30 日(日)の 10 日間となります。LA オートショーでは、LA という環境問題に関心が高い都市で開催されていること、そして自動車メーカー各社がデザイン・スタジオを設置している地域性もあり、デザインや環境に配慮した最新技術にフォーカスしています。

プレスパスの登録手続きは、**10 月 31 日までです**。プレスパス登録やショーの詳細は、www.LAautoshow.com にてご案内しておりますのでご覧ください。また、LA オートショーに関する様々な情報はプレスリリースでも、順次提供してまいります。

LA オートショーでの現地サポート

LA オートショーの日本における PR 代理店であるフライシュマン・ヒラード・ジャパンのダグラス・フットが、11 月 19 日、20 日の 2 日間、オートショー会場において、日本から取材にいらっしゃるジャーナリストの皆様へ、下記サポートをさせていただきます。

- LA オートショー関係者、デザイン・チャレンジ関係者などへのインタビューのアレンジ
- 英語／日本語の通訳
- 日本語のプレスリリース配布、その他

サポートを希望される場合は、事前に下記までご連絡いただければ幸いです。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先:

フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社

東京都中央区築地 6-19-20

ニチレイ東銀座ビル7F 〒104-0045

ダグラス・フット 03-3524-4622 / douglas.foote@fleishman.com

山崎雅之 03-3524-4610 / masayuki.yamazaki@fleishman.com